

## 障がい者の自立をめざす作業所「伯耆みらい」を訪問

### 町民が力を合わす、それは「地域力」のバロメーター

子どもは社会の宝 地域の子どもは、地域で見守り育てよう

今回、障がいのある方の自立を目指し頑張っている、作業所「伯耆みらい」を訪問しました。

**質問** 作業所「伯耆みらい」の設立のきっかけは？

**松原施設長** 7年前、伯耆町内に障がい者の受け皿として、家族会と、町の皆さんが中心となり立ち上げていただきました。

**質問** これまでに、どんな苦労がありましたか。

**松原施設長** ゼロから立ち上げ、すべてが手探りで大変でした。その頃は、私たちへの理解がまだまだでしたので、活躍の場を見つけてのに戸惑いがあり、閉じこもっていました。そんな折、三部の「だんだんまつり」で売った「豆チャン焼き」は、初めての社会参加として自信となり、今日に至る原点となりました。

**質問** 作業所のメンバーをよく見かけるようになりしました。私たちの目にはチームワークの良さを感じますが、内部の雰囲気はどうですか。



作業前の打合せ

**松原施設長** みんなすごくがんばっています。

いろいろな問題はありますが、「はずかしがりや」だったり、「心の悩み」だったり、皆さんとなら変わりありませんし、むしろ純粋な分、私たちが試されているように思います。

**質問** 今後、地域とどうかかわっていかれますか。

**松原施設長** 福祉センターという、町民の皆さんの目に触れる場所でスタートを切らせていただ

たことに感謝しています。おかげさまで、障がい者への「理解の輪」が広がっています。

またまだがんばって、大変なことがあっても、町民の皆さんと力を合わせ、「地域力」アップに貢献したいです。

ちなみに、今、新商品を開発中です。ご期待ください。

**質問** 町民の皆さんにかメッセージがありますか。

**松原施設長** たくさんの方々にお越しいただき、なかまのいきいきと働く姿を見ていただきたいですし、ますますのご支援ご協力を賜りたいです。

**感想** お話を聞き、反対にパワーをいただきました。ハンディーをかかえながら実績を着実に上げていく姿勢には、不景気を理由に消極的になつてはいられないと思えました。取材へのご協力ありがとうございました。



特許申請中の次期主力商品



「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

## 編集後記

師走の定例議会、外は雪に包まれる情景の中、新政権による事業仕分けの影響を心配しつつ、議場は熱く燃える議論を重ね、十一議案を原案どおり可決。

議会は将来の学校づくりに向けての「学校教育に関する調査特別委員会」を設置しました。議会としては、これによって、学校問題の、調査並びに研究を行って、町民の皆様の負託に答えてまいります。今年もよろしくお願いたします。

(幸本 元)

## 【編集】

議会広報特別委員会

- 委員長 大森 英一
- 副委員長 渡部 勇
- 委員 幅田千富美
- 委員 幸本 元
- 委員 勝部 俊徳
- 委員 篠原 天